

7. 教育センター

教育センターは、本学医学・看護学の卒前ならびに卒後教育の支援組織として、教育を推進する。これらの活動を通して、東京慈恵会医科大学の発展に寄与し、国民のための医療者教育の向上に貢献することを目的とする。卒前教育、卒後教育、生涯学習の連続性の中で、大学、附属病院を横断する教育活動について、教育センターは支援する。教育センター長、部門組織は次の通り。

教育センター長 福島 統 教授

- (1) 医師キャリアサポート部門
 - ① 医学教育研究室
 - ② 教育開発室
- (2) 看護キャリアサポート部門
- (3) シミュレーション教育部門
- (4) 地域医療支援部門
- (5) 教育 I R 部門
- (6) アドミッション部門

1) 公開講座

(1) 大学主催公開講座

教育センターが公開講座推進委員会（委員長：福島統教授）を主管し、大学主催（大学および4附属病院が企画・実施）の公開講座を取り纏めた。平成30年度は全機関で30回開催した。本公開講座は一般市民および地域医療者を対象とし、大学の社会貢献と広報活動の充実に関する事業としている。公開講座の継続的な推進を図るため、各機関による主体的な運営形態としている。

平成30年度の開催内容は下記のとおり。

- ・附属病院：計13回（みんなの健康教室（6回）、心肺蘇生PUSHコース（5回）、市民公開講座（2回））
- ・慈恵医大葛飾医療センター公開セミナー：3回
- ・慈恵医大第三病院：計5回（公開健康セミナー（4回）、市民公開講座（1回））
- ・柏病院市民公開講座：3回
- ・大学：計6回（ひらめき☆ときめきサイエンス2回、公開講座3回、看護学科オープンセミナー（1回））

2) 教育に関する公的補助金にかかる事業

- A. 平成28年度文部科学省大学教育再生戦略推進費「課題解決型高度医療人材養成プログラム」
山口大学を代表校とし、本学が連携5大学のひとつとして、取組「慢性の痛みに関する教育プログラムの構築」事業の推進を行った。本学の事業責任者は上園晶一教授（麻酔科学講座）が担当。事業期間は平成28年度～32年度。
- B. 平成29年度大学教育再生戦略推進費「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン」
筑波大学を代表校とし本学が連携12大学のひとつとして、事業「関東がん専門医療人材養成拠点」を申請し、採択を受けた。本学の事業責任者は矢野真吾教授（腫瘍・血液内科）が担当。事業期間は平成29年度～33年度。
- C. 平成30年度課題解決型高度医療人材養成プログラム「精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成」
筑波大学を代表校とし茨城県立医療大学・東京慈恵会医科大学が連携大学として、事業「精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成」を申請し、採択を受けた。本学の事業責任者は繁田雅弘教授（精神医学講座）が担当する。事業期間は平成30年度～34年度。

- D. 経常費補助金私立大学改革総合支援事業タイプ2
地域と大学との連携に対するタイプ5補助金申請を行い、採択には至らなかった。この申請に伴い、調布市大学プラットフォームを構築し、調布市、調布市商工会、ルーテル学院大学、白百合女子大学、明治大学、桐朋学園芸術短期大学が参画した。
- E. 経常費補助金「情報の公表」
教育情報の公表について、関係部署からデータ提供の協力を得て、平成30年9月に本学ホームページに掲載し、教育情報の公表を行った。
- 3) 看護学教育プログラム
看護キャリアサポート部門の研修担当者（奈良京子）と臨床4機関の研修担当者の協力のもと、以下の教育プログラムを実施した。
- (1) エデュケーションナース研修
・開催趣旨：新人看護師やプリセプターに対して意図的に適切な指導を行うために必要な知識・技術・態度を修得し、教育担当者としての役割を担う看護師の育成をねらいとした。
・開催期間：平成30年7月31日（火）～11月24日（土）の内20日間、受講者数：35名
- (2) 基礎教育と臨床の交流研修
・開催趣旨：臨床および教育の看護管理者が一堂に集まり、各々の立場から本学の看護の現状と課題について情報交換を行い、【目指す慈恵の看護】を共有し、連携強化を目指した。
・開催期間：平成31年1月26日（土）～1月27日（日）1泊2日、受講者数：16名
- (3) E L N E C - J コアカリキュラム看護師教育プログラム
・開催趣旨：「質の高いエンド・オブ・ライフケアを提供する」という重要な役割を果たすための基本的な知識を養い、コミュニケーションスキルを高めることをねらいとした。
・開催期間：平成30年12月2日（日）・12月15日（土）2日間、受講者数：28名
- 4) シミュレーション教育支援
シミュレーション教育施設委員会（委員長：福島統教授）が中心となり、シミュレータ機器の選定、購入などの機器整備を行い各機関のシミュレーション教育施設の充実を図るとともに、シミュレーション教育施設の管理運営を行った。
各機関の利用状況は、西新橋校557件、国領校83件、葛飾医療センター228件、柏病院144件、合計1,012件の利用であった。
- 5) ICT活用教育支援
- (1) eラーニング
卒前・卒後教育教材の作成とeラーニングのサーバ等のシステムを管理し、利用支援を行うとともに、教材作成を支援した。eラーニングの実績は年間77コース391回であった。内訳は次の通り。
・医学科学生 12コース、63回（3年次症候学演習、4年次基本的臨床技能実習など）
・看護学科学生 44コース、120回（2年次情報科学、3・4年次在宅看護学実習など）
・看護専門学校学生 1コース 1回（災害看護）
・大学院博士課程 2コース、25回（疫学臨床研究、生物統計学など）
・卒後教育（研修医、看護師、地域医療者など） 18コース、182回（鏡視下手術トレーニングなど）
- (2) コンピュータ試験の支援
医学教育研究室木村直史教授を責任者として、医学科5年生「総括試験」、医学科2年生「総合試験」、など医学科で10回、看護学科科目横断試験で1回、計11回のコンピュータ試験実施の支援を行った。

(3) クリッカーを活用した授業等の支援

クリッカーの運用・管理、利用者への支援を行った。学生、大学院の授業で計58回利用された。

6) 教育IR部門

学生の学修成果を明示するために、入学から卒業までの学生の実績について、データを収集し、解析した。その結果の中から、新教学委員会体制に向けての課題の抽出を行なった。

7) 地域医療者教育プログラム

(1) プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム

地域医療を行っている医師を対象に「プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム」を松島 雅人教授（臨床疫学研究部・教育センター）を責任者として実施した。

平成28年度生・受講生10名、平成29年度生・受講 8 名、平成30年度生・受講16名を受講生として、講義（eラーニング）を6コース、ワークショップを5回実施した。

8) 市民ボランティア「あけぼの会」の活動

平成24年度より、学生、医師、看護師等への本学らしい医療者教育の拡充を目的に、一般市民ボランティア「あけぼの会」を組織し活動を開始した。この組織は、現在、医学科・看護学科の授業（演習、実習）で実践している市民参加型コミュニケーション教育や、医療面接教育への支援を主としている。平成31年3月31日現在の会員数は30名で、平成30年度の活動は次の通りである。

(1) 例会（SP勉強会含む）

第1回例会 平成30年4月28日（土） 9：30～12：00（SP、例会）
第2回例会 平成30年6月30日（土） 9：30～12：00（SP、例会）
第3回例会 平成30年9月1日（土） 9：30～12：00（SP、例会）
第4回例会 平成30年10月27日（土） 9：30～12：00（SP、例会）
第5回例会 平成31年1月26日（土） 9：30～12：00（SP、例会）
第6回例会 平成31年3月23日（土） 10：00～12：00（SP会）

(2) 授業への参加

医学総論Ⅳ演習 (西新橋校) 医学科4年 4月6日（金）14：00～16：10
基本的臨床技能実習 (西新橋校) 医学科4年 4月27日（金）13：40～16：10
基本的臨床技能実習 (西新橋校) 医学科4年 5月18日（金）13：40～16：10
基本的臨床技能実習 (西新橋校) 医学科4年 6月1日（金）13：40～16：10
基本的臨床技能実習 (西新橋校) 医学科4年 6月8日（金）13：40～16：10
基本的臨床技能実習 (西新橋校) 医学科4年 6月22日（金）13：40～16：10
臨床医学Ⅱ (西新橋校) 医学科5年 7月13日（金）13：40～16：10
医学総論Ⅲ演習 (西新橋校) 医学科3年 7月9日（月）13：00～16：10
医学総論Ⅲ演習 (西新橋校) 医学科3年 11月9日（金）13：00～16：10
医療総論Ⅰ演習 (国領校キャンパス)
医学科・看護学科1年 5月22日（火）13：00～14：30
医療総論Ⅰ演習 (国領校キャンパス)
医学科・看護学科1年 6月5日（火）13：00～14：30
PCC-OSCE 6年 9月15日（土）7：30～20：30

(3) FDへの協力

PCC-OSCE FD 7月28日（土）9：00～15：00

9) テレビ会議システムの利用支援

4機関合同の教育・研修活動の支援として、テレビ会議運営委員会を主管し、4機関を接続したテレビ会議システムの使用を支援し、年間15回のテレビ会議システムの利用支援を行った。利用内容は4病院合同セーフティーマネジメント、成医会などであった。

10) アウトリーチ活動

アウトリーチ活動推進委員会（委員長：南沢享教授）が主体となり、大学の社会貢献の一環として、教育研究成果の中高校への還元を目的に次の活動を行った。

(1) ひらめきときめきサイエンス

- ・「働き者の心臓を見て、触って、聴いて、知りつくそう」南沢享教授（細胞生理学講座）
平成30年7月31日（火）大学1号館6階及び7階実習室、中学生16名
- ・「ヒトの体を四次元的な目で見てみよう」鈴木直樹教授（高次元医用画像工学研究所）
平成30年7月23日（月）高次元医用画像工学研究所及び第三病院3号館ホールA・B、
中学生18名

(2) オープンキャンパスにおけるアウトリーチ活動（2回）

教育・研究および学生のポスター展示、学生クラブ紹介ビデオの上映を行うとともに次の講義を行った。

- ・8月13日（月）16：10－16：40
「私達の科学の中で、医学・生物学の特徴は？」竹森 重教授（分子生理学講座）
- ・8月13日（月）16：45－17：15
「受験生のための疲労・ストレス対策講座」近藤一博教授（ウイルス学講座）
- ・8月14日（火）16：10－16：40
「衣食足りたらトキメキを求めよ」大木隆生教授（外科学講座）
- ・8月14日（火）16：45－17：15
「受験生のための疲労・ストレス対策講座」近藤一博教授（ウイルス学講座）

(3) 港区との連携

a) 御成門小学校との活動

- | | | |
|-------|-----------------|-----------------|
| 9月14日 | 4年生理科授業（2クラス） | 川村将仁講師（薬理学講座） |
| 9月21日 | 6年生理科授業（2クラス） | 南沢 享教授（細胞生物学講座） |
| 1月28日 | 5年生理科授業（2クラス） | 楠原淳子助教（産婦人科学講座） |
| 2月19日 | 6年生がん教育授業（2クラス） | 和田美恵師長、森川みはる看護師 |

b) 御成門中学校との活動

- | | | |
|-------|-----------------|-----------------|
| 9月10日 | 養護教諭と教員対象 | 武田 聡教授（救急医学講座） |
| 2月28日 | 3年生がん教育授業（2クラス） | 和田美恵師長、森川みはる看護師 |

11) 教育質的転換プロジェクト

医学科・看護学科及び大学院における教育の質的転換に向けたプロジェクトを平成30年度学内公募したが、申請がなかった。

12) 教育施設の整備

- ・大学1号館8階OSCE視聴覚システムを改修した。